

(3)

(夕刊)

岐路に立つ北洋

サケ・マス漁業

の社長室で吉人さんと同士で、明治漁業(金成社長)で今年初めてから巻き網漁業に取り組んでいます。北洋に見切りをつけた組だ。

小名浜漁港町、明治漁業(金成社長)では母船独航船「第21明治丸」が漁船となり、持つて販賣するほか、土産用の干物や冷凍保護を前面に打ち出し、沖縄パックなど、「大半の魚が」として、扣止の針を日本側に伝えています。

金成社長は自國回賀のようだが、これだけ広い魚の店は全国でも珍しいと思う。数年前から構想はあるが、なかなか実現しない。(金成社長)

運の二頭内はどちらも日本二頭内外で、運営できなくなれば、北洋への依存度が高まることになる。

ただ、この日中平和友好条約(21日)と沖合漁引き船「第21明治丸」のクボードになった。ぜひ成功させたい。

さくらんぼの日本二頭内外で、北洋漁業関係者歓喜的打撃を受けた。さくらんぼの日本二頭内外で、北洋漁業関係者歓喜的打撃を受けた。

さくらんぼの日本二頭内外で、北洋漁業関係者歓喜的打撃を受けた。さくらんぼの日本二頭内外で、北洋漁業関係者歓喜的打撃を受けた。

さくらんぼの日本二頭内外で、北洋漁業関係者歓喜的打撃を受けた。

無情・沖どり禁止ソ連

マグロ、近海漁へ見切り

それで漁船船主は、どうしているのか。

「第18神津丸」(145t)の船主

玉山昭一(145t)は小名浜字中

呂五郎(100t)は同船を

回り大きくな

め、島根県・境港市に登録所に登録するた

めに考案されたのが郊外漁

船主は、費用は

千円

年、毎年、

鹿島町下矢田の県道(通称、

鹿島街道)沿いで六月オーブンを

い。その理由は

五千万から一億

年、交渉に耳を傾けたと氣を

もむのはあつたんだ。

マグロ

自ら流し網の権利手に入れて

れでいる。(小名浜さかなセンター

と出産を生む田ノ交渉が運

ばり、周年操業である。水揚げも

は敷地面積六千六百三十平方

メートル

一五、二億は期得、十分や

と胴を張る。

ところ、鉄骨づくりの売り場(五

ト)が、平成元年六月十六日からモスクワで開か

れた。

そこで、北洋へ見切りをつける

ために考案されたのが郊外漁

船主は、残存船主

主高木正一郎(50t)

は「去年、

体、割合がつぶさ

も口対四だ。

従つて北洋への道が断たれると

何としても今期は出た。

田ノと

は、経営が根底から壊され

ることを意味する。

漁獲量は昨年

はもう少しヨア・フレをして

並の六万二千tは最低でも欲しい

けれども、北洋への道が

防護するため入港料は高い

が、北洋の利益を守るために

は、北洋の方は初日から出で

たが、全国がファンが殺

らうとするだけだ。

それで、北洋へ見切りをつける

ために考案されたのが郊外漁

船主は、残存船主

主高木正一郎(50t)

は「去年、

体、割合がつぶさ

も口対四だ。

従つて北洋への道が断たれると

何としても今期は出た。

田ノと

は、経営が根底から壊され

ることを意味する。

漁獲量は昨年

はもう少しヨア・フレをして

並の六万二千tは最低でも欲しい

けれども、北洋への道が

防護するため入港料は高い

が、北洋の利益を守るために

は、北洋の方は初日から出で

たが、全国がファンが殺

らうとするだけだ。

それで、北洋へ見切りをつける

ために考案されたのが郊外漁

船主は、残存船主

主高木正一郎(50t)

は「去年、

体、割合がつぶさ

も口対四だ。

従つて北洋への道が断たれると

何としても今期は出た。

田ノと

は、経営が根底から壊され

ることを意味する。

漁獲量は昨年

はもう少しヨア・フレをして

並の六万二千tは最低でも欲しい

けれども、北洋への道が

防護するため入港料は高い

が、北洋の利益を守るために

は、北洋の方は初日から出で

たが、全国がファンが殺

らうとするだけだ。

それで、北洋へ見切りをつける

ために考案されたのが郊外漁

船主は、残存船主

主高木正一郎(50t)

は「去年、

体、割合がつぶさ

も口対四だ。

従つて北洋への道が断たれると

何としても今期は出た。

田ノと

は、経営が根底から壊され

ることを意味する。

漁獲量は昨年

はもう少しヨア・フレをして

並の六万二千tは最低でも欲しい

けれども、北洋への道が

防護するため入港料は高い

が、北洋の利益を守るために

は、北洋の方は初日から出で

たが、全国がファンが殺

らうとするだけだ。

それで、北洋へ見切りをつける

ために考案されたのが郊外漁

船主は、残存船主

主高木正一郎(50t)

は「去年、

体、割合がつぶさ

も口対四だ。

従つて北洋への道が断たれると

何としても今期は出た。

田ノと

は、経営が根底から壊され

ることを意味する。

漁獲量は昨年

はもう少しヨア・フレをして

並の六万二千tは最低でも欲しい

けれども、北洋への道が

防護するため入港料は高い

が、北洋の利益を守るために

は、北洋の方は初日から出で

